

第8回

さる

猿楽がくの時代



と

闘あじ

茶ちや

展

会期:6月26日(火)~7月15日(日)

主催：近江猿楽多賀座

共催：あけぼのパーク多賀

協力：多賀観光協会・近江和装株式会社

ごあいさつ

13～14世紀頃、能や狂言は猿楽と呼ばれ、社寺を舞台に活動を行う猿楽座が日本各地にありました。能を集成したことで知られる世阿弥の「申楽談義」には、当時の滋賀県（近江国）には六つの猿楽座があり、そのうち一番古い歴史を持つ座が現在の多賀町敏満寺にあった北坂座（みまじ座）であると記されています。今回は、猿楽や猿楽が隆盛した時代の生活と風習に関する資料を紹介します。展示をご覧になって、ぜひ当時の庶民文化について思いを馳せてみてください。

2012年6月26日(火)～7月15日(日)

あけぼのパーク多賀

[滋賀県犬上郡多賀町四手976-2]

◆開催時間

平日 10時～18時
土、日曜 10時～17時
月曜 休館日

◆闘茶会

7月15日(日) 11:00～15:00
於 あけぼのパーク あけぼのカフェ
(入場無料)

◎みまじ座(北坂座)展

かつて敏満寺にあったとされる近江猿楽座をわかりやすく紹介

◎企画展示(関連)

衣 ・約600年前の装束を調査・研究し、麻の草木染をベースに現在の技術とかみ合わせ製作した装束

食 ・お茶の文化史

住 ・約600年前、どのような場所で猿楽が演じられてきたか、絵などを使って再現



多賀大社蔵「多賀大社参詣曼荼羅図」より

猿楽の時代、中世(13～14世紀頃)

能・狂言は「猿楽」と呼ばれ、各地の社寺を舞台に活動を行う猿楽座がありました。世阿弥の『申楽談義』によれば、当時近江国には、六つの座があり、そのうち一番古い歴史を持つ座が今の多賀町敏満寺にあった敏満寺座(北坂座)であると伝えられています。

今回の展示会では、「猿楽」を知っていただく為に、「猿楽の時代」の文化と風習に関する資料を展示し、「猿楽の時代」に流行した「闘茶」を開催いたします。

「闘茶」とは、鎌倉時代末期、公家、社寺、武家間で、茶の産地を飲み当てるという賭け事をした娯楽的な寄り合いのことで、豪華で優雅な遊びであったと伝えられています。今回は、現代風にアレンジし、体験を通じて、当時の時代に触れていただくことができます。

当日は、景品も用意しておりますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

近江猿



主催 近江猿楽多賀座
共催 あけぼのパーク多賀
協力 多賀観光協会 ・ 近江和装株式会社
お問い合わせ 近江猿楽多賀座事務局 山本(豪) Tel 0749-48-8111(多賀町役場代表)